

業科目名	音楽	教員名	浦 雄一	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	必修
					小学校教諭	必修
科目番号	KY0105	配当年次	1 年前期		幼稚園教諭	選択
					保育士	必修
授業形態	演習				こども音楽療育士	選択
					情報処理士	
単位数	2 単位					
科目						
施行規則に 定める科目区分						
一般目標	(1) 小学校音楽科の教材に関する基礎的な知識を修得する。 (2) 小学校音楽科の指導にあたって必要となる基礎的な演奏技術、表現力、指導力を修得する。					
到達目標	(1) 小学校音楽科の教材に関する基礎的な知識を修得する。 1) 各種分析を通して、楽曲の特徴を理解する。 (2) 小学校音楽科の指導にあたって必要となる基礎的な演奏技術、表現力、指導力を修得する。 1) 楽曲の特徴を理解した上で、器楽ならびに歌唱における演奏技能を修得する。					
ディプロマ・ポ リシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	主に小学校で用いられる楽曲を題材として、指導に際し必要となる知識および技能を教授する。アクティブ・ラーニング（小テスト、グループワーク）を行い、理解の深化を促す。					
履修条件・注意事項	特になし。					
授業計画	第1回：ガイダンス。本科目の流れを理解する。（目標(1),(2)） 第2回：音楽経験に関する調査。結果を踏まえ、グループ分けを行う。（目標(1),(2)） 第3回：理論の学修（1回目）。コードの定義を理解する。（目標(1),(2)） 第4回：理論の学修（2回目）。メジャーコードに関する小テストを行う。（目標(1),(2)） 第5回：ピアノ伴奏の学修（1回目）。課題曲Aの演奏方法について理解する。（目標(1),(2)） 第6回：ピアノ伴奏の学修（2回目）。課題曲Aの小テストを行う。（目標(1),(2)） 第7回：理論の学修（3回目）。マイナーコードに関する小テストを行う。（目標(1),(2)） 第8回：ピアノ伴奏の学修（3回目）。課題曲Bの演奏方法について理解する。（目標(1),(2)） 第9回：理論の学修（4回目）。セブンスコードに関する小テストを行う。（目標(1),(2)） 第10回：理論の学修（5回目）。調およびカデンツについて理解する。（目標(1),(2)） 第11回：理論の学修（6回目）。調およびカデンツに関する小テストを行う。（目標(1),(2)） 第12回：理論の学修（7回目）。課題曲Bの分析を行う。（目標(1),(2)） 第13回：ピアノ伴奏の学修（4回目）。課題曲Bの小テストを行う。（目標(1),(2)） 第14回：合唱曲の学修（1回目）。歌唱法について理解する。（目標(1),(2)） 第15回：合唱曲の学修（2回目）。各パートの役割を理解する。（目標(1),(2)） 定期試験：実技試験（口頭試問を含む場合がある。）を行う。					
授業外学修時間 の確保について	（事前・事後学習として週4時間以上行うこと。） 事前学習：小テストの準備を入念に行うこと。 事後学習：復習を行い、不明な点については各自で調べる。					
学生に対する 評価	定期試験30%、その他（積極的な参加、小テスト等）70%により評価する。 フィードバックについては、メールにて対応する。					
テキスト	適宜指示する。					
参考書・参考資料等	適宜指示する。					
担当者からの メッセージ	特になし。					
オフィスアワー	メール等でアポイントメントを取ること。					
備考						